

## レース報告書

### スーパーフォーミュラ 第3戦

### 富士スピードウェイ

7月8日(土) 予選 天候：晴 (観客動員数：13,400人)

7月9日(日) 決勝 天候：晴 (観客動員数：21,200人)

## 予選結果

#64：15位

#65：16位

## 予選レポート

世界有数のロングストレートを持つ富士スピードウェイで迎えた第3戦。予選日は梅雨の晴れ間で快晴に恵まれ、蒸し暑い1日となった。

午前中に1時間のフリー走行が行なわれ、そこで確認作業を終えた2台はノックアウト方式の公式予選に臨む。開始時刻の14時半を迎えると一斉にコースイン。2台は揃って中古タイヤで確認後、一旦ピットに戻り、ニュータイヤに交換してコースに復帰する。64号車の大祐は計測2周目に1分24秒612をマークし15位、65号車のカーティケヤンは計測3周目に1分24秒781で16位となり、それぞれQ2に進出できずに予選を終えた。

## コメント

総監督：中嶋 悟

「出だしが肝心だと思っていたのですが、今日は何かと思うように進められず 1 日が終わってしまいました。明日、挽回できるように今夜はしっかり準備を進めたいと思います」

#64 : 中嶋 大祐

「昨日の走り出しから調子がいま一つで、予選までの間に様々なセット変更を繰り返したのですが、マシンの挙動を改善することはできませんでした。予選はミスもなく力を出し切ることはできたと思うのですが、残念ながら Q2 進出には不十分でした。予選に関しては正直手詰まり感があってとても厳しいですが、決勝のペースは周りと比べても悪くないと思うので、明日は追いつけてポイントを獲得できるように精一杯頑張ります」

#65 : ナレイン カーティケヤン

「We had a problem with the engine this morning, so we lost some time on the setup. TCS Nakajima Racing ended with position 15 & 16 in the qualifying race which is not where we want to be. We need to improve a lot and hope we can.」

「今朝のフリー走行ではエンジンに問題が発生し、セットアップに時間がかかりました。予選で TCS NAKAJIMA RACING がポジション 15 と 16 でしたが、これは私たちが望んでいるポジションではありません。なるべく多くのことを改善する必要があります」

## 決勝結果

# 64 : 11 位

# 65 : 14 位

## 決勝レポート

前日に続き快晴の富士スピードウェイ。朝から日差しが照りつけ、気温も 30 度を超え、汗ばむ 1 日となった。

朝のフリー走行で、大祐は 2 番手、カーティケヤンは 16 番手と確認を終え、決勝レースに臨む。全車がクリーンにスタートを切ったが、直後からそれぞれの順位を争い、バトルが勃発。TCS NAKAJIMA RACING も 1 周を終えると順位が入れ替わり、大祐 16 番手、カーティケヤン 15 番手となる。3 周目に他車と接触したマシンがリタイアしたため、それぞれ順位を上げて大祐 15 番手、カーティケヤン 14 番手となる。7 周目に入ると 15 番手争いで大祐がパスされ、ポジションを 1 つ落とすが懸命に前にしがみついていく。大祐は 13 周目にピットインを行ない、給油のみの作業でコースに復帰し、ここからチェッカーまでの長い道のりを粘り強く走行していくことに。

一方のカーティケヤンは序盤に接触があり、3 つポジションを落とすが、ピットインをするマシンが現れ出したことで、順位を徐々に上げていく。30 周を迎える頃には 8 番手を走行。一時は 4 番手を走りながら、最終的に 19 台のうち最後までピットインを引っ張り 42 周目にピット作業を行ない、フロントタイヤのみの交換と給油を行ない、大祐より後方でコースに復帰。全車がピットインを終えた時点で、順位は大祐 11 番手、カーティケヤン 14 番手となる。残り周回が 10 周を切っても、それぞれが攻めの走りで接近戦を繰り広げたが、TCS NAKAJIMA RACING の 2 台はそのままの順位でチェッカーを受け、第 3 戦を終えた。

## コメント

総監督：中嶋 悟

「まだまだですね。思うことはいろいろありますが、次戦に向けてまた整えていかなければならないと思っています。暑い中、たくさんのご声援をありがとうございました」

#64：中嶋 大祐

「スタートは良かったのですが、1 コーナーで行き場を失ってひとつポジションを下げてしまいました。その後はペースが上がらず、防戦一方の苦しい展開になりました。中盤を過ぎた頃から徐々にペースは良くなってきたのですが、上位に追いつくことはできず、終始消極的なレースとなってしまいました。結果的に周りの脱落に助けられて11位となりましたが、満足のいくような内容ではありませんでした。改善すべきところが多く厳しい状況ですが、なんとか浮上のきっかけをつかめるように、チームと協力して次戦までに準備を進めたいと考えています。ご声援ありがとうございました」

## #65 : ナレイン カーティケヤン

「I finished 14<sup>th</sup> at today's race. In the beginning the car was difficult to drive but then it started getting better. My car's tyre got hit so probably there is a big mark on the diffuser at the rear. Apart from that it was a lonely race to be honest.」

「決勝レースは14位となりました。最初はマシンを運転するのが難しかったのですが、その後はより良くなってきました。リアタイヤがぶつけられて、おそらくリアのディフューザーに大きなマークがあります。それとは別に、正直に言えば孤独なレースでした」

※次戦は8月19日、20日にツインリンクもてぎで行なわれます。